



やまがた ゆきみらい通信

～雪と生きる 雪を活かす～

第4号

発行所 やまがたゆきみらい推進機構

〒995-0024 村山市楯岡笛田 4-5-1

TEL:0237-47-8691 Fax :0237-55-5236

Eメール kitamurasomu@pref.yamagata.jp

第2回

やまがたゆきみらい

シンポジウム開催

三月十七日に村山総合支庁北庁舎の講堂を会場に第二回やまがたゆきみらいシンポジウムが開催され、産学官民から八十八名の参加者があった。



感謝状の贈呈風景

発表に先立ち、安全な雪下ろしDVDの制作に多大な貢献があった「宮沢地区雪プロジェクトチーム」に、やまがたゆきみらい推進機構から感謝状が贈られた。

はじめに、山形大学大学院の東山禎夫教授が「雪国における太陽光発電システムについて」と題し、太陽光発電システムの

屋根雪処理への活用と課題について基調講演が行われた。

この後、「北村山管内における雪対策の現状」と題して小松雪プロジェクト推進主査が住民アンケート結果の中間報告を行い、雪対策が定住対策に不可欠であることや消融雪装置の低コスト化の要望が強いことが明らかにされた。

続いて、県総合防災課の日塔防災主査から「平成十九年度の雪下ろし関係の事故発生状況」の最新報告があり、また、西塚雪プロジェクト推進専門員による経過説明の後「安全な雪下ろしDVD」の試写を行った。

最後に「村山市袖崎地区における官民協働除排雪」について袖崎まちづくり協議会の生田会長と北村山道路計画課の高橋主査から報告がなされた。

活発な意見交換のあと、国土交通省地方整備課の島多課長補佐から、袖崎地区の官民協働除排雪の成果を全国に普及したいとの話があった。

第2回運営幹事会

を開催

第二回運営幹事会が三月十七日（月）に村山総合支庁北庁舎二〇一会議室で開催された。平成十九年度の事業報告と平成二十年の事業計画（案）について話し合われた。

特に各専門部会の事業計画（案）については、各部長から説明がなされた。

主なものとして、屋根雪処理部会では克雪住宅モデルの提示、宅地内雪処理部会では宅地内雪処理の調査、利雪部会では雪室の普及促進に向けた実証試験などが提案された。



あいさつする東山幹事長

雪下ろし作業の

ノウハウを紹介

雪下ろし作業中の事故防止を目的に制作に取り組んでいた「安全な雪下ろし作業DVD」が二月二十九日に完成し、同日報道関係者を前に発表された。



完成したDVD

安全帯・命綱の装着の仕方や服装、はしごの立て方等基本的な内容が主だが、ベテランの方にも初心に返ってぜひ見て欲しい内容となっている。

県内すべての市町村、各総合支庁、関係機関等に送付し、各地域の公民館などでの活用を働きかけているほか、より多くの方が見られるようウェブサイトによる動画配信も検討されている。